

まちのわだい

老連 50 年の歩みを祝福



6月4日、いきいきほーるで水巻町老人クラブ連合会の創立 50 周年記念式典が行われました。式典の第二部では、加藤流三^{さんげんどうとうしゅうかい}絃道藤秋会師範の加藤訓穂^{さとほ}さんによる津軽三味線の記念演奏が行われ、炭坑節が始まると参加者も手拍子で応えました。

子どもたちの笑顔のために



6月18日、遠賀信用金庫が行ったフードドライブ活動によって集まった食料品などが、近隣市町の 18 の子ども食堂へ寄贈されました。水巻町内からは「ことこと食堂」と「みんなの地域食堂 フリースペースダイニング」が寄贈を受けました。

ログハウス駅舎に映える七夕飾り



6月27日、吉田一区の子どもたちが東水巻駅に七夕飾りを設置しました。

歴史ある東水巻駅のログハウス駅舎は、子どもたちが飾り付けた七夕飾りで華やかに彩られ、駅を訪れた人々を出迎えていました。



絶品料理と変面ショーに拍手喝采
ポットラックパーティー

5月30日、国際交流協会と韓国民団の皆さんとの交流会「ポットラックパーティー」が開催されました。韓国民団婦人会の皆さんが作った絶品の本格韓国料理を囲み、盛り上がる交流会。最後は水巻町在住の変面師・翔瑛^{しょうえい}さんによる「変面ショー」が披露されました。一瞬でお面が変わる圧倒的なパフォーマンスで会場のボルテージは最高潮に。歓声と拍手が鳴り止まず、感動の締めくくりとなりました。

翔瑛さんは昨年の広報みずまき6月10日号で取材した際に、「人種・民族の違う人々の架け橋になりたい」と語っていましたが、まさにそれが実現した瞬間となりました。



6月10日、町内在住の杉野重勝^{しげかつ}さんが水巻みなみ保育所の子どもたちに田んぼを開放して「カプトエビ観察会」を開催しました。長年無農薬栽培を続ける杉野さんの田んぼには「生きた化石」といわれるカプトエビがたくさんすんでいます。杉野さんに教わりながら楽しそうに網を入れていた子どもたち。楽しんだ後は、大切な「命」をまた田んぼへと返してもらっていました。

カプトエビ観察会

「生きた化石」がいっぱいいたよ